

2022年度第2回 研究評価委員会審議結果

(研究テーマ：事前評価)

テーマ	研究テーマ名	テーマリーダー	内部評価	外部評価
1 A	地震災害の軽減や復旧に関する研究開発	野津 厚	3	3
1 B	津波・高潮・高波・による災害の軽減や復旧に関する研究開発	鈴木 高二朗	3	3
2 A	沿岸・海洋環境の形成・保全・活用に関する研究開発	桑江 朝比呂	3	3
2 B	脱炭素社会の構築に関する研究開発	米山 治男	4	3
3 A	インフラ整備に関する研究開発	森川 嘉之	3	3
3 B	インフラの維持管理に関する研究開発	山路 徹	3	3
4 A	デジタル技術の活用による生産性向上に関する研究開発	藤田 勇	4	3
4 B	デジタル技術の活用による新たな価値の創造に関する研究開発	藤田 勇	4	3

注) 評価評点は内部・外部とも 5:適切～4:ほぼ適切～3:普通～2:やや不適切～1:不適切

(研究実施項目：中間評価)

重大な変更があるものなし。

注) 評価制度のPDCAサイクルの効果的運用の観点から研究計画に重大な変更があるもののみを年度第2回委員会で審議する。

(研究実施項目：事前評価)

No.	テーマ	研究実施項目名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	1 A	液状化流動が沿岸・海洋構造物等にもたらす影響評価手法の開発	佐々 真志	4	4
2	1 A	地震・高潮・高波による吸い出し・陥没等予知と維持管理技術の開発	佐々 真志	4	
3	1 B	機動的津波高潮評価に関する研究	高川 智博	4	3
4	1 B	港内施設の設計波浪外力の算定法に関する研究	平山 克也	4	
5	2 A	土砂輸送・地形変化シミュレーションの高度化に向けたモニタリングとモデリング	伴野 雅之	4	
6	2 A	水環境生態系モデルの運用手法の標準化	井上 徹教	4	3
7	2 B	港湾工事の脱炭素化に向けた港湾構造物のCO2指向型設計手法と低炭素材料の開発	川端 雄一郎	4	4
8	2 B	洋上風力発電施設等の風・波・地震連成解析手法の開発	加島 寛章	4	
9	3 A	海象観測データの集中処理・解析に基づく海象特性及び波浪情報提供に関する検討	川口 浩二	3	
10	3 A	大規模造成地盤の力学特性と長期変形特性の評価	高野 大樹	3	
11	3 A	打撃応答特性を利用した杭の施工管理手法の確立	中村 圭太	3	
12	3 A	鉦滓の地盤材料としての循環利用に関する研究	松村 聡	4	3
13	3 B	長期暴露試験および実構造物調査を基にした各種建設材料の性能評価および評価手法の開発	山路 徹	4	

14	3 B	海洋構造物の防食工法の設計・維持管理の高度化に関する研究	山路 徹	4	4
15	3 B	改良地盤の長期耐久性の検討およびその評価手法の開発	高橋 英紀	4	
16	4 B	A I コンテナターミナルシステムと連動するシミュレータの開発に関する研究	吉江 宗生	4	3
17	4 B	コンテナターミナル間の情報共有によるデジタルツインに関する研究	吉江 宗生	3	

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に高い~4:高い~3:普通~2:やや低い~1:低い

(特定萌芽的研究：事前評価)

No.	研究実施項目名	研究責任者	内部 評価	外部 評価
1	機械学習による海洋環境の時空間分布の即時推定の高度化	大倉 翔太	3	3

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている~4:優れている~3:普通~2:やや劣る~1:劣る